



奄美群島リーフチェックサミット 公開シンポジウム

サンゴでひらく シマの未来

日時：7年5月13日 午後6時開始

場所：喜界町役場コミュニティホール

参加無料・申し込み不要

公開シンポジウムはライブで Zoom 配信します →



プログラム

① 主催者挨拶 安部真理子（日本自然保護協会）

② 基調講演：（40分）

南西諸島を中心としたアオサンゴ群集について

安田仁奈（東京大学大学院農学生命科学研究科 教授）

③ パネルディスカッション：（70分）

サンゴでひらくシマの未来 -喜界と与論-

登壇者：隈崎 悦男（喜界町長）

田畑 克夫（与論町長）

渡邊 剛（喜界島サンゴ礁科学研究所 理事長）

安田 仁奈（東京大学大学院農学生命科学研究科 教授）

進行：鈴木倫太郎（喜界島サンゴ礁科学研究所 地域環境計画室長）

※本プログラムはパタゴニア環境助成金と Holdfast Collective 助成金にて実施します。

リーフチェックは、市民が参加できるサンゴ礁の調査活動です。奄美群島では、喜界島、与論島、奄美大島の瀬戸内町、竜郷町で開催されています。今回のサミットでは、奄美群島のリーフチェック関係者が集まり、今後のサンゴ礁保全と未来へのつなぎ方をテーマに、情報共有やワークショップが行われます。また、喜界島の皆様向けに公開シンポジウム「サンゴでひらくシマの未来」を開催します。シンポジウムでは、東京大学大学院の安田仁奈教授が「南西諸島を中心としたアオサンゴ群集について」と題して講演します。後半では、「サンゴでひらくシマの未来～喜界と与論～」をテーマに、サンゴ礁の一島一町同士である喜界町の隈崎悦男町長と与論町の田畑克夫町長が登壇し、それぞれの地域におけるサンゴ礁の現状や取り組みについて語り合います。サンゴ礁に興味のある方、海が好きな方、島の未来を一緒に考えたい方、どなたでもご参加いただけます。穏やかで温かい時間をともに過ごしながら、サンゴ礁のこれからを見つめてみませんか。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

主催：日本自然保護協会

協力：喜界島サンゴ礁科学研究所

後援：喜界町

環境省沖縄奄美自然環境事務所

奄美群島サンゴ礁保全協議会

喜界島ジオパーク推進協議会

喜界島アオサンゴ保全協議会

お問い合わせ：

喜界島サンゴ礁科学研究所

電話：0997-66-0200

公開シンポジウム登壇者プロフィール

隈崎 悦男 喜界町長

1981年に喜界町役場に入り、建設課長や総務課長を経て、副町長を務める。2015年に定年退職後、2019年4月から2020年6月まで副町長として再び町政に関わり、2020年9月の町長選挙で初当選。農業生産や観光振興、高齢社会に向けた福祉の充実を推進し、子育て支援や行政のデジタル化にも関心を持つ。

田畑 克夫 与論町長

ヨロン島観光協会会長、与論町商工会会長、NPO法人ヨロンSC理事長、海の再生ネットワークよろん理事長を経て2023年9月より与論町長に就任。「想いどう力 みんなが輝く島づくり」を理念に、島民にとってわかりやすく、新しい時代に適した行政を目指し、実現可能な計画を工夫しながら最善の選択で町政運営を推進する。

渡邊 剛 NPO法人 喜界島サンゴ礁科学研究所 理事長

北海道大学大学院理学研究院地球惑星科学地球惑星システム科学科 講師

総合地球環境学研究所 准教授

1994年、北海道大学理学部地質学鉱物学科卒業。同大学大学院地球環境科学院修士・博士課程終了後、サンゴ礁に記録される地球環境変動をテーマに、オーストラリア国立大学、フランス国立気候環境研究所、ドイツ・アーヘン工科大学地質研究所、ハワイ大学などで研究に従事。2014年より鹿児島県喜界島にNPO法人喜界島サンゴ礁科学研究所を立ち上げ、理事長に就任。

安田 仁奈 東京大学大学院農学生命科学研究科 教授

環境省 サンゴ礁生態系保全行動計画策定検討会 委員

日本学術会議 海洋科学分科会 副委員長 など

大学院生時代からオニヒトデやアオサンゴの研究をはじめ現在に至る。専門は分子生態学でDNAやRNAなどの目に見えない分子を用いて生物多様性の起源や海洋生物のストレス、海洋生物のマクロな初期生態などを明らかにすること。

鈴木 倫太郎 喜界島サンゴ礁科学研究所 地域環境計画室長

駒澤大学応用地理研究所 所員

サンゴ礁環境や地理に関する研究を行い、サンゴ礁保全や調査安全に関する取り組みを進めている。国立環境研究所地球環境研究センター高度技能専門員、日本生態系協会ランドデザイン総合研究所主任研究員、WWF ジャパンサンゴ礁保護研究センター長を歴任し、現在は喜界島サンゴ礁科学研究所の地域環境計画室長を務める。サンゴ礁科学の普及や保全活動に加え、サンゴ礁を通じた環境教育、地域づくりにも携る。